

校長室だより(No18)

R4.12.19

先週は「人権週間」として学校全体で取り組み、最終日に私から、次のような話を子どもたちにしましたのでお知らせします。

この1週間、みなさんはビデオによる各学年の発表を通して人権について考えましたね。「人権を大切にすること」とは、みんなが幸せに、笑顔で毎日を過ごせるようにするという事です。ちがいを認め、一人一人が自分らしく生きる、ということです。仲よし委員会のみなさんからも 学校生活の場面に例にあげて説明がありましたね。

特にこの一週間、みなさんは勉強の中で、また生活の中で意識をしながら取り組みましたね。

1年生は、「ふわふわことば」をいっぱい使っていこう、そして、友達のいいところや自分のいいところをいっぱい見つけていこう、という発表でした。

2年生は、ドッジボールの例を取り上げ、友達の気持ちを考えて、困ったりつらい気持ちをもったりしている友達がいたらどうすればよいか、考えて行動していこうと、手話を交えた発表でした。

3年生は、男だから 女だからといって、昔からの言い伝えや決めつけた見方はおかしいこと、そうではなく、個性として一人一人の行動や考え方を認めていくことの大切さや、「あったかことば」をたくさん使っていきたい、という発表でした。

4年生は、ひかりの本を使って人権学習で学んだことについて、発表がありました。特別扱いではなく 相手の思いを大切にしたい行動をすること、学校や教室を安心して自分の意見が言える場所にしていくこと、弱い立場の人や困っている人を黙って見ているのではなく、自分にできる方法で助けることの大切さや、自分たちが生きているのは大切な命をいただいているから、感謝の気持ちを忘れてはいけないことを伝えました。

5年生は、インターネットでの書き込みによる人権侵害について発表がありました。インターネットの心ない書き込みがいじめや差別につながり、相手の命も奪ってしまう場合があること、個人情報を書き込んだり知らない相手と会ったりすることは、大きな危険を伴うこと、相手を傷つけるような書き込みになっていないか、今一度、振り返ったりルールを守ったりして利用することの大切さを伝えてくれました。

6年生は、差別や人権、環境問題や子どもの人権問題についての発表でした。いじめにより 自ら命を絶ってしまう 残念なことが起こっていると言うこと、そんないじめを起こさないために、私たちができることは、つらい思いをしている人に声をかけていくこと、「あなたは一人じゃないよ」って、メッセージを送ること、また、世界には家がなくて、学校に通えない子どもたちがたくさんいて、私たちが平和で安全にくらし、学校で学んでいるのは、あたりまえでなく幸せなこと、ジェンダー平等についての意識を高め、自分らしく生きていくことの大切さを伝えました。

みなさんに聞きます。

みなさんは、まわりの人の笑顔をつくる人ですか？

まわりの人の笑顔をつるって奪ってしまいませんか？

みなさんは、困っていたり、つらい思いをしている人の、心の声が聞こえますか？

自分だけがよかったらいい、そんな考えで言葉を放ったり、行動したりしていませんか？

つらい思いをしたり困ったりしている人を、笑顔にする力がみなさんにはあります。

相手の心の声を聞いて 自分ができることをしてみてください。

「人の体や心を傷つける行為は絶対に許さない」気持ちで、見て見ぬふりをしないこと。

(人の幸せや笑顔を奪う差別に、仲間と共に立ち向かっていった人たちのように・・・)

つらい思いや困っている人がいたら、自分にできることを、やってみてください。

やさしい言葉をかけるのもよいでしょう。そばにいてもよいでしょう。

まわりの人を笑顔にするために、自分も笑顔になるために。

みんなが自分らしく、生きるために・・・。

川内北小学校のみんなと、取り組んでいきましょう。

先週には、お忙しい中、個人懇談のためにお時間を取っていただき、ありがとうございました。2学期も残りわずかとなりましたが、子どもたちの笑顔と成長のためにこれからも取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。